

リースヘリ21機取得

三井住友FL、業界首位狙う

525億円

三井住友ファイナン
ス&リース(SMFL)は次世代型ヘリコ
プター21機を購入す
る。購入額は3億50
00万(約525億
円)規模とみられる。

2028年までに順次
納入される予定。SM
FLがヘリコプターを
一度に取得する機数と
しては過去最多。今後
も医療搬送などでリー
ス需要が拡大するとみ
られる。

2028年までに順次
購入を決めた。30年
までに保有・管理する
機体を足元の2倍とな
る350機規模まで増
やし、ヘリコプターリ
ース業界で首位を狙
う。

SMFLが購入する
ヘリコプターは、イタ
リアのレオナルド製の
中型2機種と準大型1
機種。緊急を要する医
療搬送や捜索救難、洋
上風力発電施設への人



SMFLが購入するレオナルドの中型機

員・物資輸送などでの活用を想定する。2月に発注し、今回の購入で子会社を通じて保有・管理する機体を約170機に拡大する。

SMFLは、ヘリコプターが他の輸送手段に比べて二酸化炭素(CO2)排出量が少なく環境負荷が低いとみて、今後需要が拡大すると予想する。19年から30年までヘリコプターの需要が年平均3%程度で成長し、リースを利用する比率も高まる見通し。

購入するヘリコプターは、SMFLが出資する英LCIインベス
トメンツとアイルラン

・オセアニア市場を取り込む考え。今後、他のメーカーの機種を買い増してラインアップを拡充し、幅広い需要に応える。

SMFLは20年にLCIインベストメンツと共同でSMFLHを設立し、ヘリコプターリース事業に参入。23年にはLCIインベス
トメンツにも出資し
た。国内大手リース会
社で唯一、ヘリコプタ
ーリースを本格的に手
がけている。保有・管
理する機数は、アイル
ランドのマイルスト
ン・アビエーション・
グループに次ぐ世界2
位に付けている。

SMFLは20年にLCIインベストメンツと共同でSMFLHを設立し、ヘリコプターリース事業に参入。23年にはLCIインベス
トメンツにも出資し
た。国内大手リース会
社で唯一、ヘリコプタ
ーリースを本格的に手
がけている。保有・管
理する機数は、アイル
ランドのマイルスト
ン・アビエーション・
グループに次ぐ世界2
位に付けている。